

死亡届

手続名	死亡届
手続根拠	戸籍法第86条, 第87条
手続対象者	親族, 同居者, 家主, 地主, 家屋管理人, 土地管理人等
提出時期	死亡の事実を知った日から7日以内(国外で死亡したときは, その事実を知った日から3か月以内)
提出方法	届書を作成し, 死亡者の死亡地・本籍地又は届出人の所在地の市役所, 区役所又は町村役場に届け出てください。
手数料	手数料はかかりません。
添付書類・部数	死亡診断書又は死体検案書・1通 なお, やむを得ない事由によって, これらの書面を得ることができないときは, 届出先の市区町村にお問い合わせください。
申請書様式	死亡届書 届書用紙(死亡診断書・死体検案書と一体となっております。)は, 市役所, 区役所又は町村役場で入手してください。
記載要領・記載例	別紙のとおり 。ただし, 例示した事例と相違する場合には, 市区町村にお問い合わせください。
提出先	死亡者の死亡地・本籍地又は届出人の所在地の市役所, 区役所又は町村役場
受付時間	届出先の市区町村にお問い合わせください。
相談窓口	市役所, 区役所又は町村役場
審査基準	民法・戸籍法等の法令に定めるところによります。
標準処理期間	届出先の市区町村にお問い合わせください。
不服申立方法	死亡届の不受理処分がされたときは, 家庭裁判所に不服申立てができます(戸籍法第118条)。

死亡届

平成 年 月 日届出

長 殿

受理 平成 年 月 日 第 号	発送 平成 年 月 日					
送付 平成 年 月 日 第 号	長 印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1) (よみかた)	イハヤノミ 下三ウ	
(2) 氏 名	板柳 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3) 生 年 月 日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後
(4) 死亡したとき	平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 時 分
(5) 死亡したところ	〒番 号	
(6) 住 所 (住民登録をして いるところ)	〒番 号	
(7) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	〒番 号	
(8) 死亡した人の (9) 夫または妻	<input checked="" type="checkbox"/> いる (満60歳) <input type="checkbox"/> いない (<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)	
(10) 死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(11) 死亡した人の 職 業・産 業	職業	産業
そ の 他		
属 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長 住所 (6)に同じ 番地 番 号 本籍 (7)に同じ 番地 番 筆頭者の氏名 板柳太郎 署名 板柳花子 印 昭和9年 5月 日 生	
事 件 簿 番 号		

記入の注意

鉛筆や消えやすい
で書かないでください

死亡したことを知
からかぞえて7日
出してください。

届書は、1通でさ
えありません。

「筆頭者の氏名
戸籍のはじめに
れている人の氏
いてください。

内縁のものはふ
ません。

には、あては
のに□のように
をつけてくださ

死亡者について
ください。

死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

一 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

一 表の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

一 「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

一 傷病名等は、日本語で書いてください。
I欄では、各傷病について発病の型(例：急性)、病因(例：病原体名)、部位(例：胃門部がん)、性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

一 妊娠中の死亡の場合は「妊娠中死」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠中死(分娩中)」と書いてください。

一 産後2日目未満の死亡の場合は「産後2日目未満死」と書いてください。

一 I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。総合状や他院等による情報についてもカッコを付して書いてください。

一 「交通事故」は、事故発生からの時刻にかかわらず、その事故による死亡が該当します。
「火災及び火焼による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

一 「住居」とは、住宅、寝等を含み、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

一 傷害がどのような状況で起こったかを具体的に書いてください。

一 妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
一 胎子産後手術等を参考に書いてください。

氏名	1男 2女		生年月日	明治 昭和 大正 平成 (生まれてから昭和以降に死亡したときは生まれた時期も書いてください)	年 月 日	午前・午後 時 分
死亡したとき	平成 年 月 日	午前・午後 時 分				
(12) 死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別 1病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他					
(13) 死亡したところ及びその種別	死亡したところ 番 地 番 号					
(14) 死亡の原因	I 直接死因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	
	(イ) 原因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	
	(ロ) 原因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	
	(ハ) 原因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	
II 直接死因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間		
子 術		1無 2有		手術年月日 平成 昭和 年 月 日		
解 剖		1無 2有		剖検年月日 平成 昭和 年 月 日		
(15) 死因の種類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5墜、火災及び火焼による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因死 } 12不詳の死					
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したとき 平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分		傷害が発生したところ		都道府市区町村	
(17) 産後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重 グラム		早産・多胎の別 1単胎 2多胎(子中第 子)		妊娠週数 週 週	
(18) その他特に付言すべきことがら	上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 平成 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 平成 年 月 日					
(19) (病院、診療所若しくは老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) (氏名) 医師	番 地 番 号		印			

ンキ
た日
内に
つか
には、
載さ
を書
まれ
るも
るし
いて